

# 第15回 ダニと疾患のインタフェースに関するセミナー 綾の照葉樹大会 2007

SADI ニュース

2008年3月31日 SADI組織委員会

第15回ダニと疾患のインターフェースに関するセミナーの議事録

Proceedings of 15th Seminar on Acari-Diseases Interface 2007 in Miyazaki

SADI ホームページ: <http://sadi.workarea.jp/>

第15回集会 (SADI 綾の照葉樹大会) は以下のとおり開催された。

第15回集会 (綾の照葉樹大会) は以下のとおり開催された。

## 1. 開催要領

ホスト: 山本正悟 (宮崎県衛生環境研究所)

期 日: 2007年5月25(金) ~ 27(日) の3日間、任意の時間帯の参加可能

会 場: 宮崎県立図書館 (宮崎県宮崎市船塚 3-210-1 Tel 0985-29-2911) 大研修室 (2F)

費 用: 参加費 @1,000円 疫学ツアー @1,500円 懇親会 @5,000円

## 2. プログラム

### 1日目 5月25日(金)

15:00 ~ 17:00 学振科学研究費課題及び厚労科学研究費課題の合同班会議 (SADI関係者参加自由)

### 2日目 5月26日(土)

8:00 バスにて疫学ツアー (綾の照葉樹林、綾の大吊り橋から照葉樹の森を視察、採集)

13:10 開会 + オリエンテーション (組織委員会 高田)

13:20 歓迎講演 司会 山本正悟

「宮崎の渡り鳥とトリインフルエンザ」 中村 豊 (宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)

14:00 休憩

14:10 一般演題

弓指孝博: 大阪府におけるリケッチア症について

島津幸枝: 広島県における日本紅斑熱とつつが虫病の現状

安藤勝彦: 志摩半島地方のリケッチア症に関する調査

馬場俊一: 北海道中標津でのマダニ刺咬から発症したライムボレリア症の1例

馬原文彦: 抗体価があがらない日本紅斑熱の症例はあるのか

安藤秀二: 国内のリケッチア感染症検査について

川森文彦: 血液からのDNA抽出法およびPCRによる *Orientia tsutsugamushi* DNA 検出法の検討

堤 寛: 日本紅斑熱リケッチア DNA の PCR 検出の基礎的検討

小沼 操: 牛のダニ媒介性原虫 (*T. parva*) の実験的伝播

田島朋子: ヤマトマダニ由来 *Ehrlichia* HF565 のダニを介した感染実験の試み

猪熊 壽: *Rickettsia japonica* の犬に対する病原性の検討 - 感染実験

大橋典夫: *Anaplasma* について

17:00 休憩

17:10 教育講演 司会 川端寛樹

「マダニのEST解析とダニワクチンの現状」 今内 覚 (北海道大)

18:30 懇親会

### 3日目 5月27日(日)

9:00 特別講演 司会 多村 憲

「オリエンチア・ツツガムシのゲノム解析 - 全塩基配列決定により明らかになったこと、  
それをもとに明らかにしたいこと - 」 中山恵介 (宮崎大)

10:00 休憩

10:10 一般演題

三谷春美：ヒゼンダニ *Sarcoptes scabiei* のミトコンドリア遺伝子による比較

小川基彦：*Rickettsia feris* のプロテオーム解析

山内健生：広島県・瀬戸内海島興・愛媛県宇和島市のマダニ相

御供田睦代：鹿児島県内の野鼠及びダニ類からの病原体検索 -2004～2005 年度調査から-

増澤俊幸：セルビアの *Ixodes* からの各種マダニ媒介性病原体の検出

藤田博己：マダニ媒介性疾患との関連が予想される新型微生物（リケッチア？）の中国産ヤマトマダニからの分離

矢野泰弘：長野県産マダニ類および野鼠類からの *Babesia microti* の検出

及川陽三郎：野鼠の赤血球に寄生するバベシアの形態学的特徴と遺伝子型との関係

井上 快：輸入齧歯類およびわが国の野生齧歯類由来 *Bartonella* 属菌の比較系統解析

高田伸弘：環東シナ海地域にみるダニ媒介性病原体の問題点 -大原年報に登載した論文を中心に-

12：40 閉会 事務連絡（組織委員会 高田）

### 3. 登録参加者名簿（2007年5月中旬現在の登録簿による）

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 多村 憲   | 新潟市                |
| 多村 美那子 | 同夫人                |
| 山本 徳栄  | 埼玉県                |
| 福長 将仁  | 福山大学               |
| 三谷 春美  | 福山大学               |
| 湯浅 伸輔  | 福山大学               |
| 今内 覚   | 北海道大学              |
| 小沼 操   | 北海道大学              |
| 馬場 俊一  | 馬場皮膚科医院            |
| 馬場 厚子  | 馬場皮膚科医院            |
| 大滝 哲也  | 東京都                |
| 大滝 倫子  | 九段坂病院              |
| 柳原 保武  | 静岡県立大学             |
| 猪熊 壽   | 帯広畜産大学             |
| 松井 珠乃  | 国立感染症研究所           |
| 角坂 照貴  | 愛知医科大学             |
| 及川 陽三郎 | 金沢医科大学             |
| 増澤 俊幸  | 千葉科学大学             |
| 福井 貴史  | 千葉科学大学             |
| 弓指 孝博  | 大阪府立公衆衛生研究所        |
| 藤田 博己  | 大原総合病院附属大原研究所      |
| 田島 朋子  | 大阪府立大学             |
| 丸山 総一  | 日本大学生物資源科学部        |
| 壁谷 英則  | 日本大学生物資源科学部        |
| 井上 快   | 日本大学生物資源科学部        |
| 野上 貞雄  | 日本大学生物資源科学部        |
| 大瀬戸 光明 | 愛媛県衛生環境研究所         |
| 稻荷 公一  | 愛媛県衛生環境研究所         |
| 近藤 玲子  | 愛媛県衛生環境研究所         |
| 岡 恵子   | 小石川東京病院皮膚科         |
| 馬原 文彦  | 馬原医院               |
| 小河 正雄  | 大分県衛生環境研究センター      |
| 小河 明美  | 大分県衛生環境研究センター      |
| 本田 俊郎  | 鹿児島県環境保健センター       |
| 御供田 睦代 | 鹿児島県立大島病院          |
| 矢野 泰弘  | 福井大学               |
| 高田 伸弘  | 福井大学               |
| 高田 由美子 | 同夫人                |
| 島津 幸枝  | 広島県総合技術研究所保健環境センター |
| 田原 研司  | 島根県保健環境科学研究所       |
| 古屋 由美子 | 神奈川県衛生研究所          |

|       |               |
|-------|---------------|
| 片山 丘  | 神奈川県衛生研究所     |
| 内山 恒夫 | 徳島大学大学院       |
| 川端 寛樹 | 国立感染症研究所      |
| 高野 愛  | 岐阜大学、国立感染症研究所 |
| 岸本 壽男 | 国立感染症研究所      |
| 安藤 秀二 | 国立感染症研究所      |
| 小川 基彦 | 国立感染症研究所      |
| 花岡 希  | 国立感染症研究所      |
| 坂田 明子 | 国立感染症研究所      |
| 安藤 勝彦 | 三重大学          |
| 山内 健生 | 富山県衛生研究所      |
| 大橋 典男 | 静岡県立大学        |
| 川森 文彦 | 静岡県環境衛生科学研究所  |
| 荻野和正  | 産業医大          |
| 堤 寛   | 藤田保健衛生大学      |

注 開会前日までの登録や当日参加を含めると 70 数名となった。

#### 4. 次回開催の予告

次回開催の予告

ホスト：玉置幸子（玉置病院）

期 日：2008年5月30日（金）～6月1日（日）の予定

会 場：5月30日（金）、6月1日（日）紀南文化会館研修室（田辺市新屋敷1 Tel 0739-25-3033）  
5月31日（土）南方熊楠顕彰館学習室（田辺市中屋敷36番地 Tel 0739-26-9909）

交 通：白浜空港からはタクシーで約30分（紀伊田辺駅までは明光バスあり）

JR 紀伊田辺駅から紀南文化会館までは徒歩 1.5 km、車なら南紀田辺 IC から 3.5km

編集や事務連絡などは下記まで

・高田伸弘（福井大学医学部）

〒910 1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

Tel 0776-61-8330（直）

Fax 0776-52-3133（直）

e-mail \*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*

[ スпам対策のため、メールアドレスの先頭に x を、最後尾に y を付加してあります（x と y に挟まれた部分が正規のアドレス）。送信時に、この x と y を削除してご利用ください。お手数ですがよろしくお願いたします。 ]

・藤田博己（大原研究所）

〒960-0195 福島県福島市鎌田字中江 33 大原医療センター内

Tel 024-554-2001(内 235)

Fax 024-554-2014

SADI 組織委員会

医ダニ学担当

・高田伸弘、矢野康弘（福井大学医学部）

・藤田博己（大原研究所）

臨床医学担当

・馬原文彦（馬原医院）

〒779-1510 徳島県阿南市新野町信里町 6-1

Tel. 0884-36-3339 Fax. 0884-36-3641

・大滝倫子（九段坂病院）

〒102-0074 千代田区九段坂南 2-1-39

Tel. 03-3262-9191 Fax.03-3264-5397

微生物学担当

・岸本寿男（国立感染症研究所）

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1 -23-1

Tel. 03-5285-1111 Fax. 03-5285-1208

- ・吉田芳哉（株式会社シマ研究所）  
〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-6-10  
Tel. 03-3966-2283

## 後 記

今年の会場は、宮崎市中央部に広がる文化施設（宮崎大学農学部跡地）の一角、県立図書館の研修室でした。空港からは椰子の並木を走り抜けて市内に入るといふ南国ならではの風情で、延べ3日間、セミナーも生活もゆったりした時間を過ごすことができました。そういう中で思い出に残ったこと・・・疫学ツアーは、宮崎市に隣接する綾町の世界遺産認定を目指す広大な照葉樹林の山でしたが、さすがに見栄えのするタカサゴキララマダニほか沢山の南方系マダニが採れましたものの、バス駐車場から続く普通の路肩下草までヤマビルがわんさかで逃げ惑う方も多く、一方、会場の図書館に面した宮崎神宮の境内芝生にも随分とマダニがいることが分かり（及川先生採集）、これも宮崎県が血気盛んな土地柄ゆえかと思いました。それを裏付けるように、我々が帰路便に乗るべく空港に着きました時、ロビー前の道路を走っている人がおられる、見ると東国原知事じゃありませんか、これはドゲンカセントイカンと思い、皆が握手を求めて追いかけたのでした。

さて、昨年の SADI ニュースの編集後記の中で“ 来年は「世界遺産を志向する綾の照葉樹林」での大会だが、次々回の開催地はどこの世界遺産でありましょうか、けっして悪乗りの意味でなく、ご期待下さい。”と書いてしまっておりました。それでと言うわけでもないのですが、組織委員会の中で出て来た候補地はリケッチア症の多発する紀伊半島熊野古道でありました（ホストは田辺市玉置病院）。一方、一度は海外開催もということで九州西方の韓国済州島（ホストは済州大学）ではいかがという話も急浮上しておりました。それで今回の懇親会で皆様のご意見を伺っておりましたら、重鎮多村先生が不肖私を目がけて“ 紀伊半島でやったら雨が半端じゃないよ、うん”とおっしゃいました。帰ってから、私はやっきになって組織委員皆を説き伏せたことでした“ 紀伊半島は何ともない所、来年は是非開催地にしましょう”と。  
（文責 高田伸弘）